

〔論作文指導報告〕

論作文研修担当 木村 夏子

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、昨年度末から大学に入構することもままならない状況が続き、本年度は、大学の教職課程課のご協力を得て、次のような方法で実施いたしました。

1. 日時 6月～7月
2. 方法 メール・電話・郵送による指導（集合・対面による指導は行わない）
※大学が学生に付与したメールアドレスを使用させていただきました。
3. 担当講師 白亜の会役員の中から可能な方（8名）にお願いしました。
4. 内容
 - 資料（データ）の送付
「論作文の書き方」の資料、論作文の問題（過去問題からの例示）、論文ワークシート
※昨年度までの研修資料をもとに担当が作成
 - 論作文の添削指導
5. 受講申し込み（参加学生17名）
 - ・対象学生に講座の案内、参加希望のとりまとめは、教職課程課のご協力により行いました。
 - ・学生の住所等、受験希望校種地域等は、担当講師への情報提供を許可していただきました。

このような方法での講座は初めてでしたが、担当講師の皆様の献身的なご指導により、準備や説明の足りないところを補っていただきました。改めて感謝申し上げます。

〔面接指導報告〕

面接研修担当 齊藤 進

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりメールおよび電話・ZOOM等での指導となりました。そのために受講テキストはできるだけ対面指導の要素を取り入れたと内容となるよう改訂しました。具体的には、

- (1) 受講者に役立つよう面接時の注意（面接に臨む心構え、服装、頭髪、持ち物等）。
- (2) 過去の質問事例、東京都集団面接選考事例、東京都個人面接選考事例、事例問題
問答例など。
- (3) 個人面接シートⅠによる面接票および個人面接質問例、個人面接シートⅡによる模擬対応（横浜市、東京都は場面指導）、
などを掲載しました。

課題としては個人面接シートⅠ・Ⅱの解答例が不十分で指導に支障が生じたことと思います。さらに改善し指導しやすい内容となるよう工夫に努めたいと思います。

また、東京都の過去質問例や面接の様子は把握できていますが、神奈川県や横浜市および埼玉県等大都市圏のデータが不足しており受講生の指導に生かすことが不十分でした。今後は受講生等からの情報収集に努めたいと思います。

今年度はコロナ禍で面接指導の実施に不安がありましたが、教職課の大島様や講師の先生方のご協力・ご指導により無事に終えることができました。ありがとうございました。

〔白亜の会ホームページのご案内〕

2021.2.6

白亜の会のホームページは、2種類あり下記のように活動をお知らせしています。

青山学院校友会のホームページから次の手順で検索してください。

校友会組織一覧 List > アイビーグループ > 職種別系 > 青山学院大学卒業生教職員校友白亜の会

校友会の白亜の会のページ

http://www.alumni-aogaku.jp/ivy071/index.php

白亜の会独自のホームページ

http://bla.b.la9.jp/aoyama.hakua/index.html

〔白亜の会の名簿管理の状況報告〕

1. 2020年12月現在の名簿登録人数……180名
2. 2020年度総会・懇親会案内状発送数……143名(メール)+23名(郵送)
3. 名簿拡大の取組
 - (1) 発送する案内状返信の紹介欄での加入者の紹介、また職場等で随時紹介をしていただく。
 - (2) 教員採用試験対策講座(同窓会による補講)に出席の学生に加入申込を勧める。
 - (3) ホームページでの加入呼びかけ。
4. 名簿の整理・メンテナンス
 - ・送付した案内状の出欠返信が2年連続で届かなかった方は別帳に移し、原則次年度より発送しない。
 - ・住所、勤務先などの変更は、その都度ご連絡いただけるようにご協力をおねがいします。

〔連絡先〕 ホームページ及び名簿管理担当 上原行義・土屋康子

TEL/FAX : 03-3753-2188 Email : ueharakogi@nifty.com

青山学院大学卒業生教職員校友白亜の会(2021・役員一覧)案

役職	氏名	在 職 校(最終勤務先)		備 考
会長	山 口 菜穂子	三鷹市立第六小学校	校長	
副会長	上 原 行 義	品川区立小山小学校	元校長	
	齊 藤 進 (庶務担当)	荒川区立南千住第二中学校	元校長	
	木 村 夏 子	世田谷区立松沢小学校	元校長	
常任 幹事	柁 津 啓 (会長相談役)	世田谷区立瀬田中学校	元校長	前会長
	土 屋 康 子	渋谷区立臨川小学校	元校長	
	伊 藤 正 泰	目黒区立原町小学校	元校長	
	清 水 信 光	あきる野市立東中学校	元校長	
	宮 木 初 枝	江東区立南陽幼稚園	元園長	
	鈴 井 孝 彰	世田谷区立駒繫小学校	元校長	元会長
	塚 越 博 道	調布市教育委員会	元教育部長	
	羽入田 眞 一	神奈川県立湘南高校	元校長	
	鈴 木 純 一 郎	多摩市立東落合小学校	元校長	
	室 岡 誠 一	都立東村山高校	副校長	
	吉 村 達 之	三鷹市立高山小学校	校長	
	福 田 敦 子 (会計担当)	荒川区立第七中学校	主幹教諭	新
	研修 担当 幹事	秋 山 美 栄 子	目黒区立下目黒小学校	校長
宮 田 周 二		大田区立池雪小学校	元校長	
関 谷 不 二 夫		新潟県私立中学高校協会	事務局長	
福 田 真 純		多摩市立和田中学校	副校長	
近 谷 幹 男		東京都教職員研修センター	教授	
阿 部 仁 明		三宅村立三宅中学校	校長	
坂 本 晃 治		豊島区立清和小学校	校長	
比 金 敏 彦		世田谷区立八幡山小学校	校長	
河 村 一 郎		渋谷区立常盤松小学校	元校長	
中 村 貴 美 子		世田谷区立梅丘中学校	元校長	
東 川 正 二 郎		墨田区立寺島中学校	元校長	
末 永 弘		杉並区立桃井第三小学校	校長	新
松 坂 章 二	稲城市立第二小学校	元校長	新	
事務局担当 幹事	川 邊 紗 由 里	中野区立塔山小学校	教諭	
	坂 西 明 弥 佳	さいたま市立高砂小学校	教諭	
	手 塚 隼 人	東京都立武蔵村山高校	教諭	
	佐 藤 昂 之	目黒星美学園小学校	教諭	
	座 間 味 恵 里	江東区立明治小学校	教諭	
	小 熊 祐 介	北区立赤羽岩淵中学校	教諭	
	新 垣 愛	三鷹市立北野小学校	教諭	新
会計 監査	塚 越 博 道	調布市教育委員会	元教育部長	
	清 水 信 光	あきる野市立東中学校	元校長	新
顧 問	小 池 角 次 郎	世田谷区立梅丘中学校	元校長	元会長

青山学院大学卒業生教職員校友白亜の会会則

第1章 総則

第1条(名称) 本会は、青山学院大学卒業生教職員校友白亜の会と称する。

第2条(所在地) 本会は、会長宅に所在地を置く。

第3条(組織) 本会は、次の会員をもって組織する。

- 一 青山学院大学の卒業生で、学校教育法第1条に定める教職員として在職している者及び退職した者。
- 二 青山学院大学の卒業生で、教育行政機関に職員として在職する者。
- 三 青山学院大学の卒業生及び関係者で、役員会が認める者。

第4条(目的) 本会は、会員相互の親交を深めるとともに、大学との連携のもとに後継者の育成や研修等に協力することを目的とする。

第5条(事業) 本会は、その目的を達成するために次の事業を行う。

- 一 大学との交流及び懇親会
- 二 青山学院校友会に所属し、アイビーグループの一員として、大学との連携のもとに研修会及び後継者育成に必要な事業
- 三 ホームページ作成、維持、管理
- 四 本会を維持発展させる諸事業

第2章 役員

第6条(役員及び任期) 本会に役員を置き、任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

- 一 会長 1名
- 二 副会長 2～4名
- 三 常任幹事 若干名
- 四 会計監査 2名

2 補欠により就任した役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第7条(役員の選出) 会長は役員会の推薦を得て、総会において決定する。

2 副会長及び常任幹事は、役員会の推薦を得て会長が委嘱する。

第8条(役員の任務) 会長は、会を代表し、会務を統括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、その職務を代理する。
- 3 常任幹事は、会務を掌理する。

第3章 会議

第9条(会議) この会の目的を達するために、次の会議を置くものとする。

- 一 総会
- 二 役員会

第10条(招集) 総会は年1回開催する。ただし、会長が必要と認めた時は、臨時に招集することができる。

2 総会及び役員会は、会長が招集する。

第11条(議決) 総会における議事は、出席会員の過半数をもって決するものとする。

第4章 会 計

第12条(会計) 本会運営のため、会長が必要と認めた時は、総会にはかり、会費を徴収することができる。

第5章 補 足

第13条(会則の改正) この会則の改廃は、総会において出席会員の三分の二以上の賛同を得て決定する。

第14条(設立年月日) 本会の設立年月日は平成21年7月20日とする。

付 則 本会則は平成21年(2009年)7月20日をもって施行する。
本会則は平成29年(2017年)1月28日をもって施行する。
本会則は令和2年(2020年)2月15日をもって施行する。

青山学院大学卒業生教職員校友白亜の会

2021年度 教員採用試験対策講座 活動予定について

研修担当 齊藤 進・木村 夏子

今後の新型コロナウイルスの感染症による影響が予測できない状況にあります。

現段階では、下記のように、本年と同様、大学の教職課程課のご協力を得て、メール等での実施を想定して活動予定を示します。

記

1. 日時 5月～8月
2. 方法 メール・電話・Zoom 等による指導
3. 対象 受講を希望する学生及び卒業生
4. 担当講師 受講希望者の数に合わせて募集する
5. 内容
 - (1) 論作文指導
 - (2) 面接指導
6. その他
 - 受講生の安全が確保できる状況になれば、対面による集合研修を実施する。
 - 大学からの情報を得ながら、計画を柔軟に変更し、受講生の要望に応える講座を行う。
 - 計画の変更は、役員会の承認を得て行う。

<お願い>

会員の皆様には、論文の添削、面接の指導等、講師へのご協力をお願いします。